

科目名	電気磁気学Ⅱ Electricity and magnetism Ⅱ			担当教員	天造秀樹		
学 年	4 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	専門	授業形式	講義	科目番号	12236017	単位区別	学修
学習目標	電気磁気現象を定量的に扱う能力を身につけることが大きな目標である。この第4学年の授業では、静磁界に関する電磁現象および電磁波に関する電磁現象を主に扱う。定量計算ができるには、物理的な意味の定性的理解が必要であるので、物理的な意味の説明ができる能力をつける。定量的な解析能力は、基本的で易しい問題を自分で考えて解くことができる程度を目標とする。						
進め方	基本的な事項を講義し、まず定性的に内容を理解させるようにする。次に関連する例題を示し、その定量的な解析の仕方を示し、具体的な問題解決方法の基本を示す。最後にいくつかの基本事項がまとまった単元毎に演習問題を解かして定量解析の能力を身につけさせる。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 磁界 (14) (1) アンペアの右ねじの法則 (2) ビオ・サバルの法則			電流と磁界の関係を理解する。 磁界を計算できる能力をつける。 D1:1-2, D2:1-2			
	[前期中間試験]						
	2. 答案の返却と解説 (1) 3. アンペア周回積分の法則 (14) (1) アンペア周回積分の法則の応用 (2) 磁界中の電流の受ける力 (3) インダクタンス			磁界を計算できる能力をつける。 磁界が電流に働く力を理解する。 インダクタンスの計算できる能力をつける。 D1:1-2, D2:1-2			
	前期末試験						
	4. 答案の返却と解説 (1) 5. 磁界の性質 (14) (1) ホール効果 (2) 電磁力による仕事 (3) 境界面における B と H (4) 誘電体の境界面における D と E			磁界の性質について理解する。 D1:1-2, D2:1-2			
	[後期中間試験]						
	6. 答案の返却と解説 (1) 7. マックスウェルの方程式 (14) (1) マックスウェルの導出 (2) マックスウェル方程式 (3) 波動方程式			マックスウェルの方程式から電磁波の存在が分かることを理解する。 D1:1-2, D2:1-2			
後期末試験							
評価方法	定期試験の得点 80%, 小テスト、レポートを 20%の比率で総合評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	専攻科「応用電気磁気学」「電磁波・光波工学」						
教 材	教科書：山口昌一郎著 「基礎電気磁気学」電気学会						
備 考	第二級陸上無線技術士国家試験「無線工学の基礎」の科目免除には、本科目の単位取得が必要。						